

四日市公害から学び、地球温暖化防止に役立つ「実践環境教育」と 県民力で育てた低炭素社会実証活動の「三重レジ袋ゼロ運動」

平成7年4月に三重大学へ赴任してから「四日市公害から学び」をテーマに、地球温暖化防止やアジア諸国の環境改善に役立つ環境人財を養成する「四日市学」を構築し、持続可能な社会を目指して現在までの17年間一貫して実践環境教育及び環境活動を行っている。特に、県民力で育てた低炭素社会実証活動である「三重レジ袋ゼロ運動」に携わり、三重県内29の全市町において県民・事業者・行政と三位一体で取り組み、県全域のレジ袋の85-90%削減、年間二酸化炭素排出量の約0.5%削減に大きく寄与した。三重県のみならず東海、九州、四国地域にも「三重方式」を取り入れたレジ袋削減活動が広がっている。また、アジア諸国との国際環境ネットワークによる実践環境教育を通じて国際環境人財を育成し、経済成長に伴う環境問題が最も懸念されているアジア諸国の環境改善へ尽力している。その他、三重県地球温暖化防止活動推進センター長や環境省3R推進マイスターなども務めている。



「三重レジ袋ゼロ運動」の講演活動
日付：平成20年12月2日（火）、
場所：熊本市
「環境にやさしい“買い物”からはじめる循環型のまちづくりシンポジウム」



「国際環境教育」(COP10 in 三重) アジア太平洋国際環境フォーラム
日付：平成22年10月18日（月）